

警察庁

National Police Agency

技術職員

2025



職員募集案内

国家公務員採用一般職試験

(大卒程度・高卒者)

第一級陸上無線技術士 資格保有者

—国民1人1人の安全・安心から、国の危機管理まで—
デジタル・サイバーの技術で治安を守る

警察の無線システムや110番受理システム等
24時間・365日警察活動を滞りなく行うための
警察通信基盤の計画的な整備・運用。

事件・事故・災害発生時の活動の指揮に不可欠な現場映像の
警察庁、首相官邸等へのリアルタイム伝送。

迫り来るサイバー空間の脅威への対処。

AI等の先端技術を用いた活動の高度化。

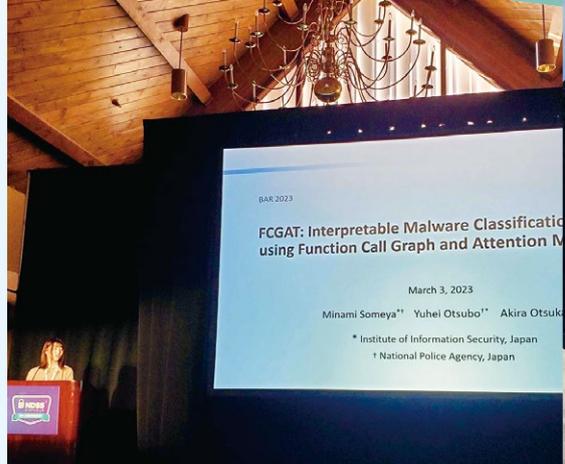
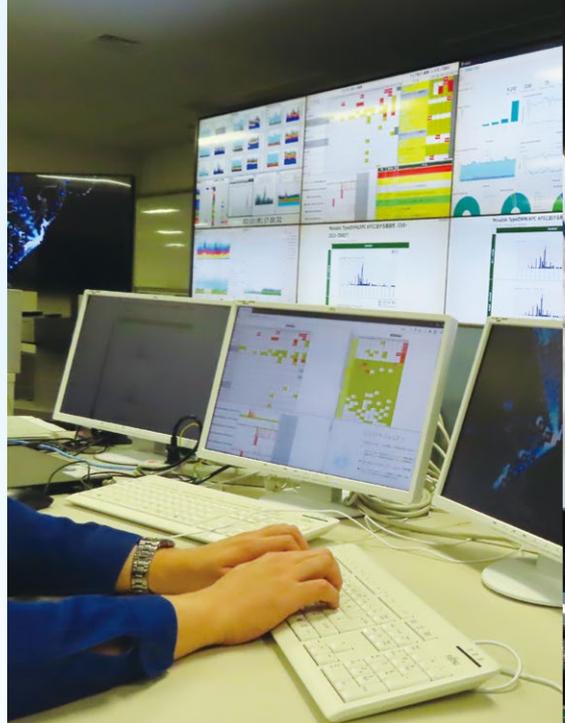
科学技術の発展、社会のデジタル化の急速な進展を背景に、
犯罪情勢が厳しい状況にある中、警察はその使命を果たすため、
時代の変化に的確に対応しなければなりません。

こうした時代の変化に対し、第一線の警察活動を
技術力で支える職員がいます。
それが、警察庁技術職員です。

技術的な知見を、
国民の安全・安心の確保のため、社会秩序の維持のため、
遺憾なく発揮できるフィールドが
警察庁にはあります。

理系として培ってきた深い洞察力、
論理的な思考力、柔軟な発想力、

そして、豊かな人間性を備えた「あなた」が、
警察庁の門をたたくことを期待しています。





Contents

Part 1 警察組織の紹介

警察機構図	4-5
警察庁技術職員について	
役割・魅力	6
採用機関と勤務先	7

Part 2 技術職員の業務紹介

地方機関	
機動通信課	8-9
通信施設課	10-11
情報技術解析課	12-13
警察庁内部部局	
官房技術部門	14
サイバー警察局	15
附属機関	
警察情報通信研究センター	16
サイバーセキュリティ対策研究・研修センター	
多様な活躍のフィールド	17

Part 3 能力を伸ばす研修制度

研修制度	18-19
通信職員養成科（技術初任）	20-21

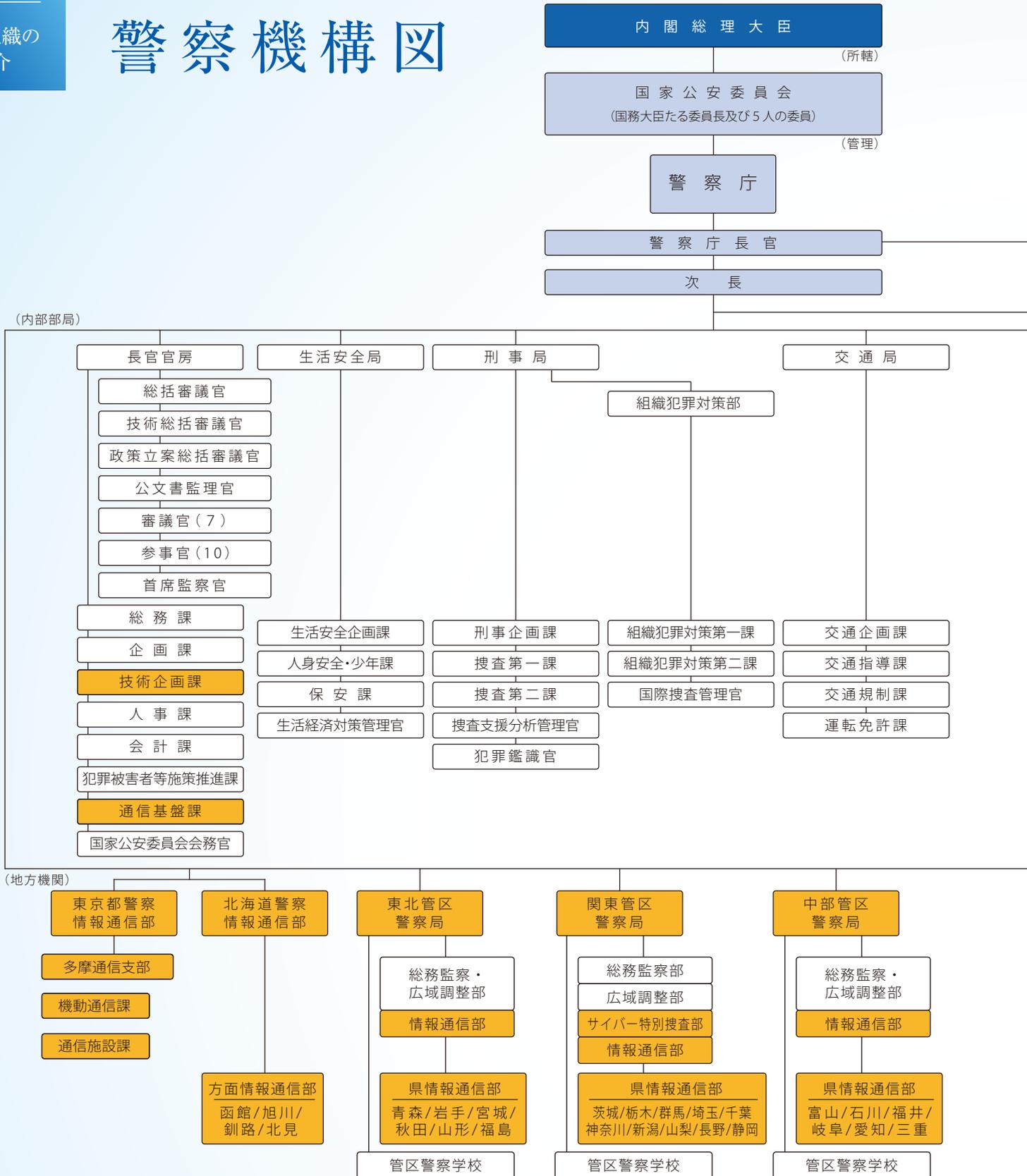
Part 4 多彩な人材の活躍

若手職員座談会	22-23
若手職員の日	24-25
キャリアパス	26-29
ワークライフバランス	30-31

Part 5 採用案内

募集要項	32-33
採用Q&A	34
採用窓口	35

警察機構図



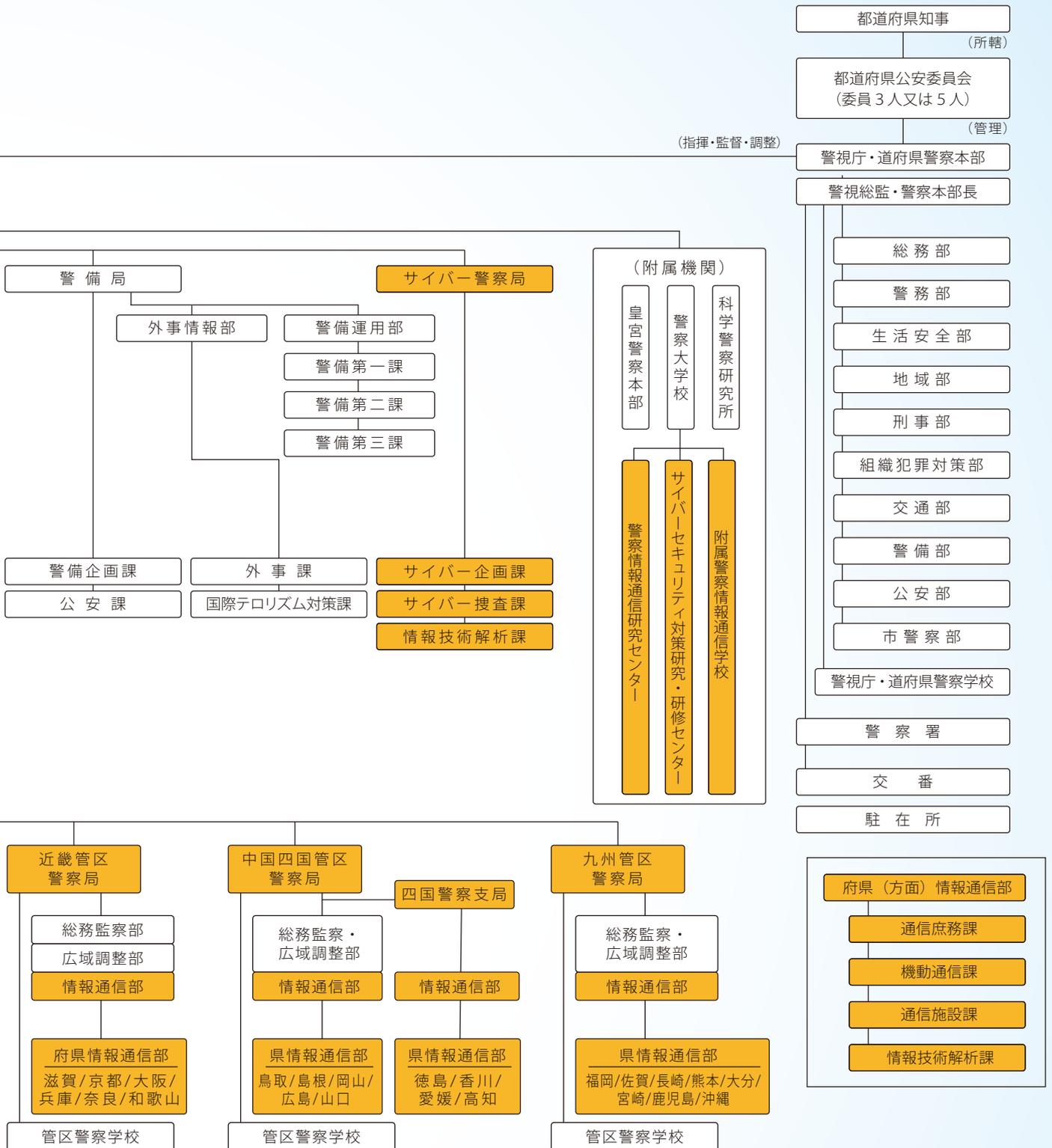
警察の沿革

我が国の警察は、明治7年、当時の内務省に警保寮が設置されて以来、第二次世界大戦の終了まで、中央では内務省警保局、地方では知事によって管理運営されてきました。戦後の昭和22年に警察法が制定され、23年から国家地方警察と市町村自治体警察の二本立ての制度となりました。その後、29年に警察法が全面的に改正され、警察運営の単位が現在の都道府県警察に一元化されました。

国の警察機関

国の警察機関として、内閣総理大臣の所轄下にある国家公安委員会の管理の下に警察庁が置かれ、全国的な視野から治安維持の責務を担っています。「所轄」、「管理」とは、他省庁におけるような直接的な指揮監督関係との相違を意味する言葉で、その趣旨は、警察の政治的中立性を確保することにあります。また、警察庁は各種国際会議の主催・参加やICPO(国際刑事警察機構)への幹部の派遣等、「治安先進国日本」の警察として、各国警察との協力や、国際的な活動を積極的に行っています。

警察庁技術職員が主に活躍する組織



都道府県の警察組織

都道府県には、都道府県知事の所轄下にある都道府県公安委員会の管理の下に都道府県警察が置かれています。都道府県警察には、警察本部、警察署が設置されており、さらに、警察署の下部組織たる交番、駐在所のネットワークが全国に張りめぐらされ、安全で住み良い社会づくりを目指しています。

警察庁と都道府県警察の関係

都道府県警察はその管轄区域における一切の第一次的治安責任に任ぜられています。警察庁は、全国警察組織の中樞を占める中央官庁として、国家的・調整的見地から治安責任を担い、その所掌事務について都道府県警察を指揮、監督、調整しています。

役割・魅力

1

技術のプロフェッショナル として能力を発揮

警察庁には、「情報通信技術」という専門性をキャリアの軸にした、技術のプロフェッショナルがいます。それが、警察庁技術職員です。

警察独自の 110 番受理システムや警察の無線システム等の情報通信システムの構築、犯罪捜査におけるデジタル・フォレンジック(データ解析)やサイバー攻撃対策などの業務を担い、国民の安全・安心を守る第一線警察活動に欠かせない存在となっています。

2

多様な活躍のフィールド

警察庁本庁での勤務はもとより、都道府県警察や他省庁、国際機関での勤務に加え、国内外の大学での研究など、現場で培った技術力を活かし、チャレンジ・活躍できる環境が警察庁にはあります。

採用区分にとらわれず、広い知見を持つことは、今後のあなたを成長させ、ひいては警察の未来を支えていくことにつながります。

3

充実した研修制度

採用 1 年目の採用時研修や、採用 2 年目以降の専門的な技術の研修など、基礎的な内容から専門的な内容まで、全国の同期と切磋琢磨しながら学ぶことができる質の高い研修制度が整っています。

4

仕事と私生活の充実

職員が仕事に打ち込むためには、ワークライフバランスの充実が不可欠です。

職員が、充実した私生活を送り、仕事において自己の能力を最大限に発揮できるよう、働きやすい職場環境づくりを推進しています。

警察庁技術職員について

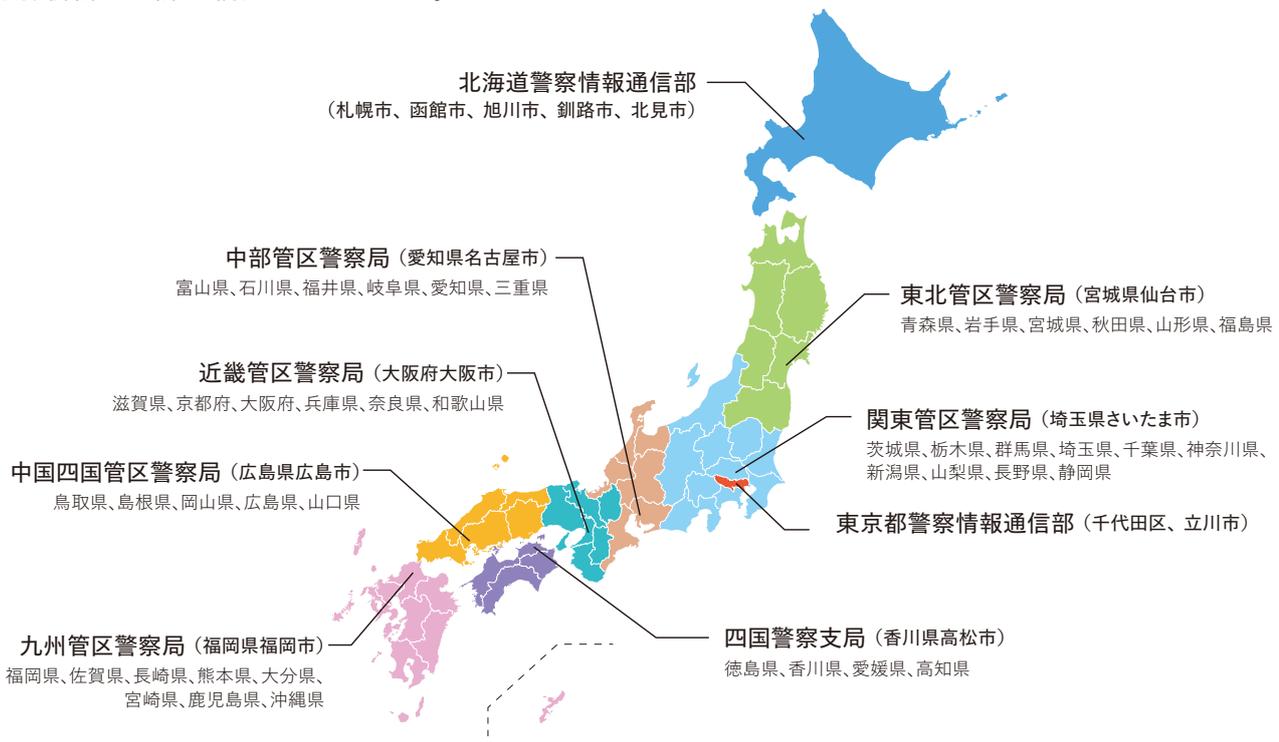


採用機関と勤務先

警察庁は、主に東京に所在する内部部局のほか、附属機関、全国各地域の地方機関で構成されています。地方機関には、エリアごとに置かれた6つの管区警察庁と、北海道警察情報通信部、東京都警察情報通信部があります。警察庁技術職員は地方機関ごとで採用され、基本的には採用された地方機関内で勤務します。

また、本人の希望や適性により警察庁本庁（内部部局）や附属機関等での勤務の機会もあります。勤務地は、各府県庁所在地（北海道は道内主要地域、東京都は千代田区及び立川市）となります。

各都道府県には情報通信部が設置されており、基本的に通信庶務課、機動通信課、通信施設課、情報技術解析課の4課で構成されています。



通信施設課

- 警察独自の情報通信システムの構築
- 各種システムの企画設計・導入

機動通信課

- 通信機器の運用・維持管理
- 災害等発生時における通信の確保

情報技術解析課

- 電子機器・不正プログラム等の解析
- サイバー攻撃の予防・被害拡大防止

通信庶務課

- 庶務、経理、資材などの事務業務
- 警察庁事務官が主に配属

都道府県情報通信部での勤務

都道府県情報通信部は、都道府県警察と緊密な連携を図り、地域の実情や現場警察官からの技術ニーズを踏まえた活動を行い、技術力で第一線警察活動を支援しています。

管区警察庁での勤務

管区警察庁は、警察情報通信ネットワークの中核的な機能を果たすとともに各府県情報通信部の現場活動を広域的な観点から指導・調整を行い、重大事案発生時には、司令塔機能を担いつつ、技術的な支援を直接行います。

警察庁での勤務

警察庁は、全国の警察活動に関する企画・立案、指導・調整、特に高度な技術対応を行っています。

各職員が府県情報通信部などの現場で培った技術力と経験を生かし、現場の活動が合理的・効率的に進められるようにリードしています。

機動通信課

事件・事故・災害発生に備える、発生時の通信を守る



事件、事故、災害時の、警察活動を迅速かつ的確に展開するためには、「警察の神経系統」となる強靱な情報伝達手段が不可欠です。

機動通信課では、各種警察活動で用いる無線機等の通信機器や通信施設が常に万全の機能を発揮できるように維持管理を行うほか、臨時的な情報通信対策が必要となる災害や障害の発生に備えた訓練等を実施しています。

災害発生時には、機動通信課の職員を中心に構成される機動警察通信隊が直ちに出勤し、状況に応じた通信手段の確保や現場映像の伝送によって第一線警察活動を支援します。

警備実施に伴う情報通信対策

大規模なイベント等に伴う警備・警護や雑踏警備等の際には、警備活動に万全を期すための臨時の通信施設や現場映像の撮影・伝送が必要になるため、警備実施計画等に基づき必要な通信の確保を行います。

災害発生時における活動

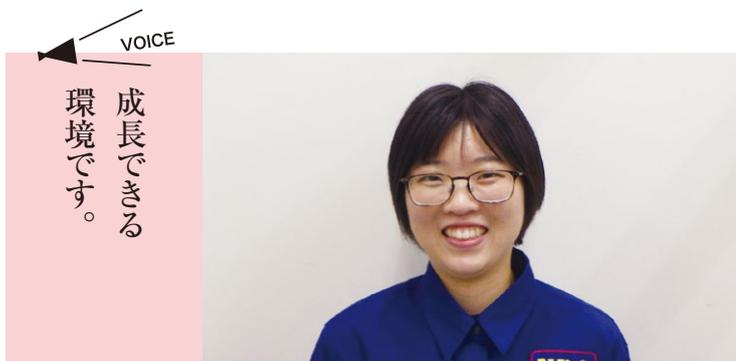
地震、台風、大雨等の災害が発生した際には、無線中継所へ燃料を搬送するなどして機能維持に当たるほか、救出救助等を行う警察部隊と共に現場に出勤し、現場映像の撮影・伝送や通信手段の確保といった活動を行います。

事件捜査等における活動

重大事件や大規模な事故が発生し、捜査本部等が設置された場合には、現場状況の詳細な把握や指揮命令が必要となるため、事件等の状況に応じた映像の撮影や伝送、適切な通信手段の確保等の支援を迅速・的確に行います。

警察通信施設等の保全

警察の通信機器・通信施設が常に万全の機能を発揮できるよう、平素から点検、調整、監視を行うほか、機器等の障害発生時においても、警察活動に必要な通信を確保するため、応急的な対応やそれらに必要な計画策定を行います。



関東管区警察局
栃木県情報通信部 機動通信課 係員

2023年 採用
一般職試験（大卒程度）
化学

2023年 関東管区警察局
2024年 現職

現在の業務内容

警察署に設置されている電子交換機の新設や障害対応を行っています。

また、警衛業務に関わることもあります。通信機器設置や映像撮影により、警察官の業務の役に立てることは嬉しく思います。

警察署員の方から直接感謝の言葉をかけてもらうことにやりがいを感じます。

現在の業務で苦労している点

通信システムや機器に障害が発生した際の対応に苦労しています。まだ知識や経験が乏しいため、自信を持って

対応方法を判断することができず、上司に頼ってばかりです。積極的に業務に携わり、経験を積みたいです。

職場の雰囲気について

分からないことを質問すると、上司の方たちは丁寧に説明してくれます。優しい方が多いと感じます。

また、女性だからといって特別扱いすることなく接してくれるため、働きやすいです。

警察というとお堅いイメージがあるかもしれませんが、皆フレンドリーに話しかけてくれるため温かい雰囲気です。

近畿管区警察局
和歌山県情報通信部 機動通信課 係長

2017年 採用
一般職試験（大卒程度）
電気・電子・情報

2017年 近畿管区警察局
2020年 大阪府警察 巡査部長（出向）
2021年 大阪府警察 警部補（出向）
2022年 近畿管区警察局 府情報通信部 係長
2024年 現職



現在の業務内容

私は現在、災害通信対策係で勤務しています。いつ発生するか分からない災害に備えるため、様々な訓練や対策を行っています。災害が発生すれば、現場状況を映像で伝えるために救助活動現場へ警察官とともに出動する機会があるため、国民の安全と安心に貢献している実感があります。

現在の業務で一番達成感を感じたこと

令和6年能登半島地震の際には、機動警察通信隊として緊急災害警備隊に帯同しました。災害現場での無線通信の確保や、警察本部や首相官邸への映像伝送を実施す

ることにより、救助活動の一翼を担ったという達成感を感じたとともに、日頃からの機器のメンテナンスや出動準備等、災害に備えることの大切さを痛感しました。

警察庁を志望した理由

大学では電気工学を専攻しており、身に付けた知識や技術を社会全体に活かしたいと考えていた時に、情報通信部の仕事を知りました。国民の安全・安心を守る警察業務に欠かせない警察通信システムの保守から解析業務まで幅広い分野で社会貢献できることに魅力を感じ、警察庁を志望しました。

通信施設課

警察の情報通信システム・インフラをつくる



いつどこで発生するか分からない事件、事故、災害に的確に対応するため、警察では全国を網羅する通信網が構築され、現場警察官の指揮命令や報告連絡に活用されています。

通信施設課では、このような通信網を構成する警察通信施設の整備等を行っています。整備に当たっては、耐災害性、機能性、利便性、コスト等を踏まえつつ、最適な技術を導入していきます。

「警察の神経系統」を情報通信技術により実現する通信施設課の責務は、ますます重要なものとなっています。

通信システムの構築に向けた整備等の計画

通信システムの構築のための警察通信施設の新設・改修等の計画を立て、その実現に向けた都道府県警察や関係機関等との調整・連携に当たるとともに、整備予算の確保に向けた警察庁等との調整等を行います。

警察通信施設に係る工事の計画・監督等

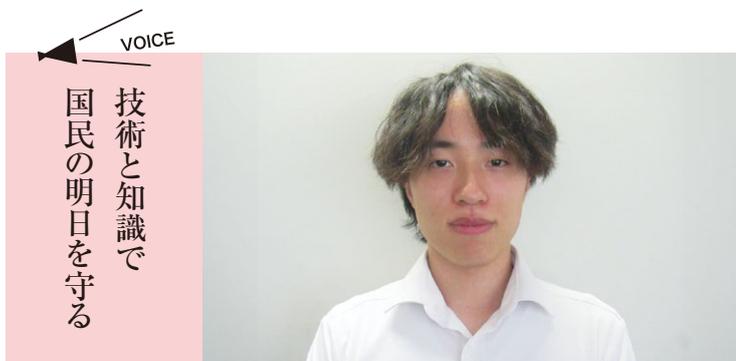
警察通信施設の新設・改修等の工事の実施に向け、現地調査等を行いつつ仕様書や図面を作成し工事の発注を行うほか、受託事業者による工事が適切に実施されるよう、立会等の必要な監督を行います。

通信システムの長期安定稼働に向けた維持管理

警察通信施設の機能及び性能を良好な状態に維持し、システム全体として長期安定稼働させるため、機動通信課と連携して点検や修繕等の計画を立て、必要な予算を確保するとともに工事等の発注や監督を行います。

回線・電波管理

警察業務の遂行に欠かすことのできない各種ネットワークの新增設等のため、データ通信回線の整備に係る電気通信事業者との調整や、自営の無線回線の運用に必要な無線局の新設、変更、廃止及び検査に係る業務を行います。



中国四国管区警察局 四国警察支局
高知県情報通信部 通信施設課 係員

2020年 採用
一般職試験（大卒程度）
土木

2020年 中国四国管区警察局 四国警察支局
2024年 現職

現在の業務内容

警察通信施設の整備工事に携わっています。

実際に設計図面を作成することもあります。学生時代に CAD を使っていたため、学校で学んだ事が大変役立ちました。また、プログラミングを授業で習っていたため、Excel マクロを作成し事務作業の自動化を図るなどして業務を効率的に遂行しています。

職場の雰囲気について

誰にでも話しかけやすく、全体的に明るい雰囲気だと思います。例えば、困ったことがあればすぐ上司に相談でき、安心して業務を行うことができます。

また、組織として休暇取得を推奨しているため、気兼ねなく休暇を取得し、旅行に行くこともできます。

今後の目標

経験が浅く、勉強の日々ですが、できることを少しずつ積み重ねて、より多くの業務をこなせるようになりたいです。工事を一人で任せてもらえるレベルまでいち早く成長できるよう、日々精進していきます。

九州管区警察局
鹿児島県情報通信部 通信施設課 係員

2021年 採用
無線従事者資格

2021年 九州管区警察局
2024年 現職



現在の業務内容

警察通信施設やシステムの整備に関する業務を担当しています。整備業務には、現場の調査や工事仕様書の作成、関係業者との打合せ、工事監督など様々な業務があり、責任感を持って計画から施工まで一連の整備事業に従事するためやりがいを感じています。

また、機動警察通信隊として、警衛・警護、雑踏警備の際に、無線の不感地帯対策や現場映像の伝送等に従事することもあり、日常生活で経験できない緊張感のある業務を担うことができるのも、警察庁技術職員ならではの思いです。

現在の業務で一番達成感を感じたこと

自ら工事を計画し、工事に関する予算要求を行い、工事が完了したときに達成感を感じます。

計画から工事完了までの一連の業務に携わるうえで、様々な準備等が必要となりますが、それらを全て成し遂げたことは、自信にもつながっています。

受験生へのメッセージ

業務に携わる中で知識や技術を習得していくことが大切だと思います。あなたの意欲や知識、技術を生かして、警察活動を支える一員として一緒に働きましょう！

情報技術解析課

サイバー技術で新たな犯罪に対応する、社会のセキュリティを高める



情報化社会の進展は、匿名性が高く、追跡が困難なサイバー空間を利用した様々な犯罪の敢行を容易にさせているほか、近年では、国家を背景としたサイバー攻撃の拡大等サイバー攻撃の洗練化・巧妙化が一層進展しており、こうした犯罪の取締りにおいては、高度な技術的知見が必要です。

情報技術解析課では、捜査で押収したスマートフォン等の証拠品の解析など、情報技術を用いて、警察の捜査活動を支えています。また、専門的な知見や高度な技術を生かし、不正プログラムの解析、ぜい弱性の調査・分析等の取組も行っています。

デジタル・フォレンジック

様々な犯罪にスマートフォンやウェブサービスが悪用されています。押収した多種多様な電子機器から、事件の真相解明の糸口となる情報を抽出して証拠化するための解析を行い、警察捜査の一翼を担う役割を果たしています。

サイバー攻撃への対策

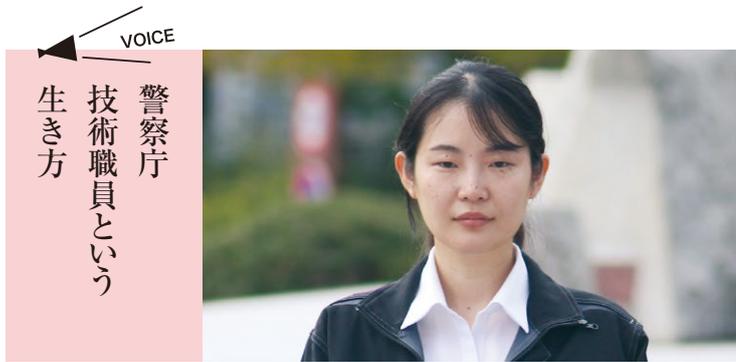
サイバー空間の脅威は、深刻な情勢が継続しています。サイバー攻撃の予兆・実態把握を行うとともに、標的となり得る重要インフラ事業者等に対する脅威情報の提供や助言、共同対処訓練を実施するなど、被害防止に取り組んでいます。

犯罪捜査における技術的支援

社会のデジタル化が進む中、あらゆる部門の捜査において技術的知見が欠かせなくなっています。都道府県警察に対し、捜索・差押えの現場でコンピュータ等を適切に差し押さえるための技術的な指導等を行い、警察全体の捜査能力の向上を図っています。

解析能力の強化

警察捜査を支えるためには、最新の技術にも対応できるように解析能力を強化していく必要があります。民間企業や学術機関との連携を通じた技術情報の収集や、新たな解析手法の開発、資機材の整備、高度な技術を持つ職員の体系的な育成を推進しています。



中国四国管区警察局
山口県情報通信部 情報技術解析課 主任

2020年 採用
一般職試験（大卒程度）
農学

2020年 中国四国管区警察局
2024年 現職

現在の業務内容

警察が押収した証拠品（パソコン、スマートフォン等）から、専用のソフトとツールを駆使して犯罪の立証に必要なデータ抽出を行っています。また、県警察の捜査員に対する解析手法の相談対応や指導も行っています。自分が積み上げた知識を事件捜査に役立てられることが、この業務の魅力の一つだと思います。

現在の業務で苦労している点

解析によってどのようなことを、どこまで確認できるか、その専門的な原理や仕組みをわかりやすく、正確に伝えることです。

ツールやプログラミングを駆使することで対応可能な解析もありますが、解析結果が捜査員に正しく理解されなければ適切な捜査は困難です。

自分自身の知識や技術を高めるため、日々研さんしています。

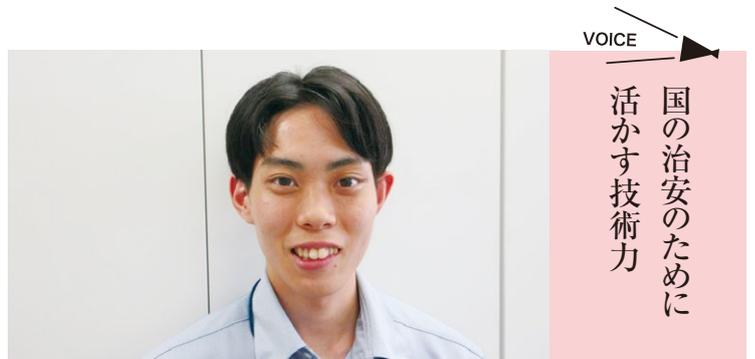
警察庁を志望した理由

元々、働くなら専門分野の知識を身につけて役に立つ仕事がしたいという思いがありました。警察庁技術職員は日本の治安維持組織というスケールの大きい職場で勤務し貢献できること、研修制度が充実していること、警察組織ならではの世界が見られると思ったことが志望理由です。

九州管区警察局
宮崎県情報通信部 情報技術解析課 係員

2021年 採用
一般職試験（高卒者）
技術（機械系）

2021年 九州管区警察局
2023年 現職



現在の業務内容

電子機器等に記録された電磁的記録の抽出、可視化を行っています。捜査で押収された証拠品が対象となるため、中には水没したものや破損しているものもあります。

破損した電子機器からデータの抽出、可視化が行えた際には、とてもやりがいを感じます。

現在の業務で一番達成感を感じたこと

事件捜査のため、スマートフォン解析を実施した際に、事件の実態解明に不可欠なデータを抽出できました。

後日、捜査員から「抽出データのおかげで捜査に進展がありました。」と感謝された際には大きな達成感を感じることができました。

職場の雰囲気について

職場の雰囲気は、とても良く、明るく賑やかです。解析業務の際には先輩からの指導、助言があり、困った時にも親身に相談に乗ってくれます。

とても優しい上司や先輩ばかりで、安心して業務に取り組むことができます。

官房技術部門



科学技術で
警察活動を高度化・合理化

現在の業務内容

警察庁では、私の所属する技術企画課が中心となって、幅広い分野の技術を警察活動に取り込み、活用することとしています。そのために、各種警察活動における技術ニーズを全国的に把握するほか、国内外の企業等から幅広く、警察活動に導入し得る技術シーズの動向や研究開発状況等に関する情報を収集するなどしています。

私は、現在、科学技術を警察活動に的確に導入するための技術政策の提案、調整等を担当しています。

警察庁長官官房
通信基盤課 通信運用室 主任

2013年 採用
無線従事者資格

2013年 中国管区警察局
2018年 中国管区警察局 県情報通信部 主任
2019年 広島県警察 巡査部長（出向）
2020年 広島県警察 警部補（出向）
2022年 中国四国管区警察局 県情報通信部 係長
2024年 現職

現在の業務内容

私は現在、全国の警察無線、映像、衛星通信システムなどの運用における統制、大規模な警備における情報通信対策の指導や調整を行っています。また、突発的な事案や大規模な災害が発生したときは、地方機関の機動警察通信隊の活動について指導や調整を行い、関係所属や首相官邸への現場映像の配信等を担当しています。

警察庁長官官房
技術企画課 先端技術導入企画室 係長

2008年 採用
一般職試験（大卒程度）
電気・電子・情報

2008年 関東管区警察局
2013年 関東管区警察局 主任
2014年 警察庁情報通信局 主任
2018年 関東管区警察局 県情報通信部 係長
2020年 関東管区警察局 係長
2021年 警察庁長官官房 係長
2024年 現職

現在の業務で一番達成感を感じたこと

AI を活用して仕事を効率化できるソフトウェアについての紹介資料を作成し、全国の警察職員に向けて配付した際、その導入方法について多くの問合せを受けたり、効率化できたことに対して感謝の言葉を受けたりするなど、大きな反響がありました。自分の業務が多くの職員の役に立ったことにとっても大きな達成感を感じました。



技術力を活かし、
警察活動に貢献できる仕事。

業務をする上で心がけていること

地方機関に対して指導するためには、警察庁の方針をよく理解して、根拠に基づいた判断をする必要があります。そのため、関係法令や警察庁で定めている規程をよく読み、どのような根拠に基づいているか理解するように努めています。また、突発的な事案が発生したときに地方機関や関係所属と連携して対応できるように日頃からコミュニケーションを取るよう心がけています。

サイバー
警察局

| 現在の業務内容

インターネット上の違法・有害情報対策を担当しています。警察庁は委託業務としてサイバーパトロールセンター（CPC）やインターネット・ホットラインセンター（IHC）を運用しており、私はCPCにおけるAIを使ったインターネット上の有害情報対策やCPCやIHCからの自殺予告投稿の通報を受けて都道府県警察と連携した自殺防止措置や自殺対策のための統計作成等を担当しています。

警察庁サイバー警察局
情報技術解析課 高度情報技術解析センター 主任

2017年 採用
一般職試験（大卒程度）
物理

2017年 九州管区警察局
2020年 警察庁情報通信局 主任
2020年 国内留学（情報セキュリティ大学院大学）
2023年 現職

| 現在の業務内容

自動車搭載機器やIoT機器などの電子機器を対象として、データ抽出方法の調査や、抽出されたデータの解析を行っています。

また、全国の技術系職員及び警察官から寄せられる相談・解析要請に対応することで、警察の犯罪捜査を技術面からサポートしています。

警察庁サイバー警察局
サイバー企画課 サイバー事案防止対策室
違法・有害情報対策係 主任

2013年 採用
一般職試験（大卒程度）
電気・電子・情報

2013年 関東管区警察局
2016年 関東管区警察局 県情報通信部 主任
2018年 関東管区警察局 県情報通信部 係長
2020年 警察庁情報通信局 主任
2022年 関東管区警察局 県情報通信部 係長
2024年 現職

| 業務をする上で心がけていること

SNSの利用が拡大する中、自殺の兆候を示す投稿や違法・有害情報の全てを漏れなくカバーすることは困難です。しかしながら、国民の生命、身体、財産に影響を及ぼすような違法・有害情報への対策や自殺予告投稿などの緊急性の高い情報への対策を行うことは、サイバー空間の秩序の維持や安全・安心な利用、そして、国民の安全確保につながるということを意識しています。



| 警察庁技術職員の魅力

警察庁技術職員の魅力の一つは、活躍できる舞台の広さだと思います。

現代では、あらゆる業務を技術が支えていると言っても過言ではありません。このため、警察庁技術職員としての知識・経験があれば、様々な分野で即戦力となることができます。

また、他省庁・研究機関との人事交流もあり、活躍の舞台は広く用意されています。私自身、国内の研究機関で2年間の研究生生活を経験するなど、貴重な経験をさせていただきました。

警察情報通信研究センター

警察大学校に置かれている警察情報通信研究センターでは、最新の情報通信技術から、世の中に普及している様々な情報通信技術や実用化されているサービスまで幅広く技術を調査し、これらを警察活動に活用するべく研究を行っています。

このようにして得られた研究成果は、犯罪捜査の高度化や先制的予防活動の合理化に活用されています。



| 現在の業務内容

地理的犯罪分析を応用した犯罪抑制効果に関する研究に取り組んでいます。具体的には、限られた人的リソースで、パトロールを効率的に実施す

警察情報通信研究センター
応用第二研究室 主任助手

2021年 採用
一般職試験（大卒程度）
機械

2021年 中部管区警察局
2023年 警察情報通信研究センター 助手
2024年 現職

るため、地理的犯罪分析を行い犯罪予測マップを作成し、県警察へ提供しています。そのほか、各種データを警察業務への有効活用をすべくデータサイエンスに関する研究を行っています。

サイバーセキュリティ対策研究
研修センター

サイバーセキュリティ対策研究・研修センターは、犯罪の取締りのための情報技術の解析に関する研究やサイバー空間における警察全体の対処能力向上に係る研修を行う機関として、警察大学校に設置されており、解析研究室と捜査研修室で構成されています。

解析研究室では、新たな不正プログラムや最新の電子機器に対応した解析手法の確立に向けた研究等を、捜査研修室では、サイバー捜査に従事する捜査員・幹部に、高度な技術的知見等を修得させるための研修を行っています。

サイバーセキュリティ対策研究・
研修センター
解析研究室 主任助手

2011年 採用
国家公務員Ⅱ種試験
(電気・電子・情報)

2011年 関東管区警察局
2016年 関東管区警察局 主任
2017年 茨城県警察 警部補（出向）
2019年 関東管区警察局 県情報通信部 係長
2021年 現職

| 現在の業務内容

私は、AIを活用した不正プログラムの解析支援技術について研究をしています。近年では、不正プログラムを使った事件が発生しています。不正プログラムが関係する事件の目的は社会インフラの破



壊、金銭や機密情報の窃取など様々です。このような状況で、不正プログラムを解析するための技術や分析手法について研究することで、より効率的に事件対応できるように支援することが私の業務です。

都道府県警察への出向



| 現在の業務内容

福島県警察のサイバー犯罪対策課に警察官として出向し、事件捜査（解析）を担当しています。

捜査の過程において、検索時に差押える対象の電子機器等を適切に判断し、押収したスマートフォ

福島県警察本部 生活安全部
サイバー犯罪対策課 警部補

2009年 採用
国家公務員Ⅱ種試験（電気・電子・情報）

2009年 東北管区警察局
2017年 東北管区警察局 県情報通信部 主任
2018年 東北管区警察局 県情報通信部 係長
2024年 現職

ンやパーソナルコンピュータ等の電子機器からデータを抽出し、解析作業を行っております。

時には、被疑者からの聴取や画面上では視認できないデータの可視化など高度な技術を要する業務もあります。

他省庁出向



| 現在の業務内容

出向先である日本国総領事館にて広報文化班業務に携わっております。広報文化班は日本語、和食や日本文化などの発信を主な業務としており、その方法は、イベントや講演を現地の協力団体と

外務省（在ムンバイ日本国総領事館）

2009年 採用
国家公務員Ⅱ種試験（物理）

2009年 東京都警察情報通信部
2015年 警察庁情報通信局 主任
2018年 警察情報通信研究センター 主任助手
2019年 警察庁情報通信局 主任
2023年 現職

共に企画・開催するほか、教育機関への働きかけ、SNS を利用しての発信など多岐に渡ります。基本的には英語を使用して現地の方とコミュニケーションを取るなど言語も業務も警察庁の業務と全く異なるものです。

留学



| 現在の業務内容

現在、法学部内にある犯罪学研究所にて、英国における能動的サイバー防御に係る手法や戦術に関する研究を進めています。客員研究員としての

ケンブリッジ大学

2010年 採用
国家公務員Ⅱ種試験（電気・電子・情報）

2010年 近畿管区警察局
2014年 近畿管区警察局 府情報通信部 主任
2018年 近畿管区警察局 県情報通信部 係長
2021年 和歌山県警察 警部補（出向）
2024年 現職

立場であるため、学生と共に授業に参加し議論を行うほか、大学院主催のカンファレンスなどにも参加し、情報収集を行っております。

研修制度

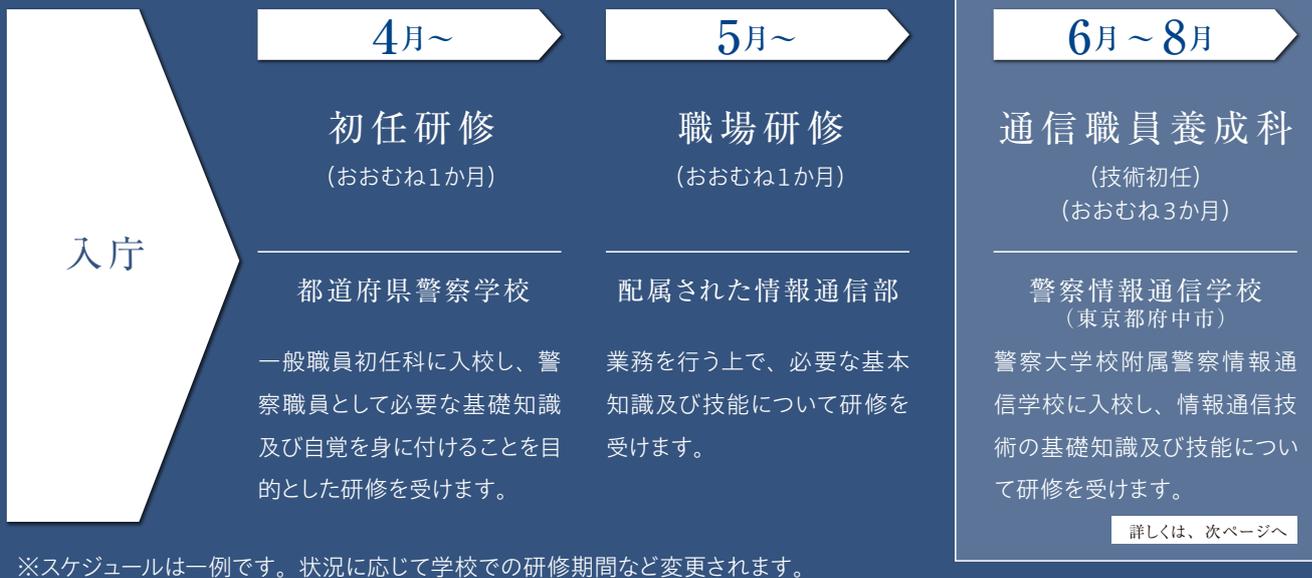
充実した研修プログラムで 情報通信技術のプロフェッショナルへの道をサポート

警察庁の研修制度は大変充実しており、情報通信に関する知識がない方でも、入庁後に業務に必要な知識を身に付けることができます。

入庁1年目は、警察情報通信学校での研修のほか、配属された所属での職場実習など、警察庁技術職員として必要になる技術・知識を身に付けるための研修を受けます。

入庁2年目以降にも、警察情報通信学校での専門的な研修や国内外での大学院等で研究を行う留学制度があるほか、民間・他省庁が主催する研修を受ける機会もあります。

入庁1年目（採用時研修）



警察庁技術職員のキャリアパスについて

入庁1年目の研修を終えると、機動通信課、通信施設課及び情報技術解析課のいずれかの係に配属となります。その後、しばらくは基本的な実務を経験・習得しつつ、主任、係長、課長補佐などとキャリアアップしていき、部下の指導や組織の運営といった所属のリーダーとしての活躍が期待されています。

キャリアアップは昇任選考となっており、学歴や性別に関係なく、選考されます。

キャリアを歩む過程で、希望や適性に応じ警察庁本庁（内部部局）や附属機関での勤務、国内外への留学、都道府県警察や他省庁への出向など様々な部門での勤務機会もあります。



2022年 採用
一般職試験（大卒程度）
化学

警察庁の研修制度全般について

入庁時の警察情報通信学校への入校から専科と呼ばれる配属された係の専門分野に特化した研修まで、自身の技術段階に応じたプログラムが用意されており、業務に必要な知識や技能を修得できる環境が整っています。

継続的な学びを通じて、業務に必要な専門性を高めていくことができます。

各種専科入校での経験について

現在、情報技術解析課で勤務しています。専科では解析業務に必要な知識を学ぶだけではなく、実際に職場で使用している機器を使用して実習を行うため、より実践的かつ高度な能力を身に付けることができました。

それぞれの業務分野に応じた専科が用意されているため、新しい業務になったとしても、不安に思うことなく自信を持って業務に取り組むことができます。



9月～3月

職場実習
(年度末頃まで)

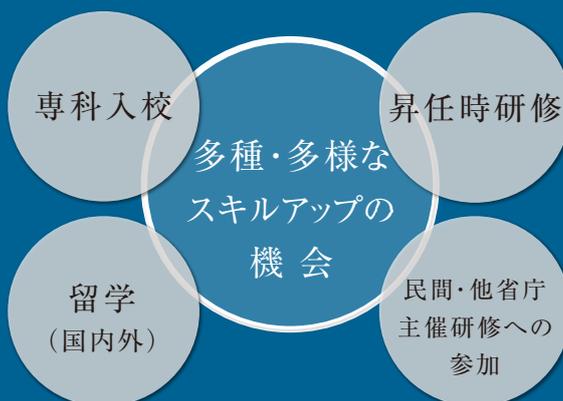
配属された情報通信部
機動通信課、通信施設課、
情報技術解析課の各課各係
において実務を行いながら研
修を受けます。

年度末

通信職員養成科
(技術補習)
(おおむね3週間)

警察情報通信学校
(東京都府中市)
警察大学校附属警察情報通
信学校に再度入校し、より実
践的な研修を受け、1年間の
研修の総仕上げを行います。

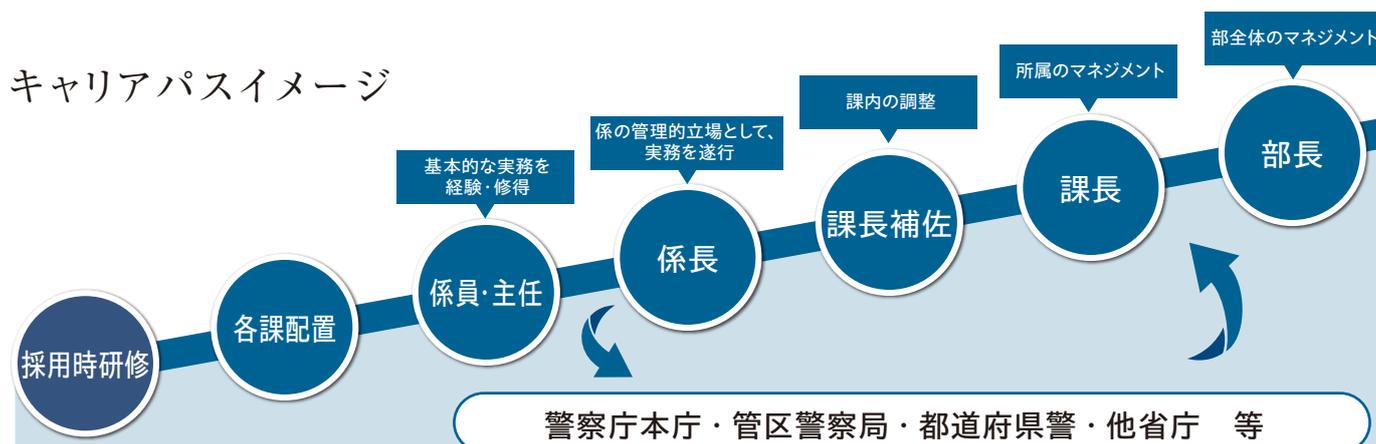
入庁2年目以降



業務において必要となる知識・技術は専門的かつ高度なものとなります。

そして日々進歩する情報通信技術に対応するため、採用時研修終了後も様々な研修体系が整備されています。

キャリアパスイメージ



警察庁本庁・管区警察局・都道府県警・他省庁 等

※ 上記は一例（役職は府県（方面）でのもの）

通信職員養成科（技術初任）

採用されると間もなく、警察情報通信学校に入校し、全国各地で採用された同期とともに、技術職員として業務をしていく上で必要となる知識や技能について学びます。

学校内には、食堂や大浴場のほか、グラウンドやテニスコートもあり、課外の時間も快適に過ごすことができます。

授業は1日5時限（1時限は80分）で、経験豊富な教官たちが担当します。情報通信に関する知識がない方でも習得できるよう、座学のほか、業務で実際に使用する機器を用いた実習を多く取り入れていますので、安心して学ぶことができます。

全国の同期たちとともに寮で生活し、学習するため、お互いの絆を育む、とても貴重な機会となっています。



通信職員養成科（技術初任）カリキュラム

データ通信	ネットワーク技術 データ通信システム など
基幹通信	電子交換機 基幹IP網システム 通信指令システム など
無線通信	無線工学 警察無線システム など
機動通信	衛星通信 映像通信 無線運用 電源設備 高所作業 など
情報技術解析	電磁的記録解析 技術支援業務概要 など
情報管理	情報処理技術基礎知識 など
一般教養	職務倫理 ビジネスマナー 情報セキュリティ対策 文書作成 文書管理・情報公開 など
その他	警察礼式 体育 各種行事 など

9:00



1時限目：座学

情報通信技術や各種通信システムの基礎知識等を学びます。



10:30



2時限目：実習

各種通信機器に実際に触れることで理解を深め、現場で活用する技術を学びます。



2021年採用
国家公務員一般職（高卒者）
技術（機械系）

通信職員養成科での経験について

学生時代は主に機械分野を学んでおり、情報通信や無線についての知識はほとんどなかったため不安を感じていました。

しかし、どの科目も教官たちが基礎から丁寧に指導してくれるので、授業についていけなくなることはありませんでした。

分からないことは、同期に聞いたり、教官に質問することができます。入校生を授業・生活の面で親身にサポートしてくれる「学生主任」という先輩職員も一緒に入校するため、安心して学習ができました。

通信職員養成科で生活を共にした全国の同期との絆は一生ものです。

11:50



昼休み

食堂で同期と昼食を食べ、午後からの授業に備えます。同期との楽しい会話は良いリフレッシュになります。

15:50



5時限目：体育

スポーツを通じて基礎体力の強化を図ります。

11:50

12:50

14:20

15:50

17:15

22:30

23:00

昼食・休憩

3時限目

4時限目

5時限目

夕食・入浴・自由時間

点呼

消灯

14:20



4時限目：グループ討議

討議を通じて職務に求められる技術・システム等の理解を深めます。討議結果を発表し、プレゼンテーション能力を磨きます。

19:00



自由時間・自習時間

売店で買い物したり、自習スペースで勉強したりするなど、自由な時間を過ごします。今日は同期との勉強会を開催し、疑問点の解消に努めました。

Q & A

Q 長期間の集団生活は不安です。

A 生活する寮は、全室個室でプライバシーが確保されており、勉強に集中できる環境が整っています。最初は慣れないこともあるかもしれませんが、研修の支援・指導を担う若手の先輩職員によるサポートも受けられるため安心して生活することができます。

Q 外出・外泊はできますか？

A 課外の時間であれば外出が可能であるほか、翌日が休日の場合には、外泊することも可能です。

Q 警察官のように体力は必要ですか？

A 警察庁技術職員は知識・技術力で警察活動を支えています。体力にあまり自信のない方や、運動が苦手な方でも心配いりません。

Q 警察情報通信学校では、携帯電話を使うことができますか？

A 課外の時間であれば、携帯電話の利用は制限されません。



Aさん
通信施設課 係員

2022年採用 一般職試験（大卒程度）
機械

Bさん
情報技術解析課 係長

2016年採用 一般職試験（大卒程度）
電気・電子・情報

Cさん
通信施設課 係員

2021年採用 一般職試験（高卒者）
技術（電気・情報系）

若手職員座談会

東北管区警察局宮城県情報通信部の若手職員3名に、
現在の業務内容や実際の職場の雰囲気、
働きやすさなどについて、語っていただきました。

—現在の業務内容を教えてください。

C 通信施設課で警察情報通信システムや機器等の新規整備、具体的には、図面作成や仕様書の作成、工事の監督等を行い、計画的な整備を行っています。

A 僕も同じ課で勤務しています。
工事監督や図面の作成など慣れない業務ばかりで大変ですが、自分の設計したものが形になり、警察活動の基

盤となる通信の確保につながると考えるととてもやりがいのある仕事です。

B 私は、情報技術解析課で捜査員が押収したスマートフォンやパソコンなどからデータを抽出して可視化を行う解析業務と、民間事業者等を対象としたサイバー攻撃への技術的対策の指導を行っています。

県警の捜査員に同行して捜索差押え現場に臨場し、専門的知識を生かしてパソコンなどの証拠物押収作業の技術的支援を行うこともあります。

があることを知ったことがきっかけです。警察官ではなく警察庁技術職員の立場から国民の安全安心な暮らしを守ることにやりがいを感じたことから志望しました。

C 私は、職員訪問で業務内容を知り、学生時代に学んできた自身の知識や技術を活かして人の役に立てる、社会貢献できる仕事というところに感銘を受け、志望しました。

—職場の雰囲気はどのような感じですか？

B 警察組織というと「厳格」といった堅いイメージがあるかもしれませんが。私も入庁までは少し不安に思っていました。実際働いてみるととても穏やかな雰囲気の職場です。解析業務は

—警察庁技術職員を志望した理由を教えてください。

A 幼い頃から警察官に興味があったので、就職活動の際に警察組織について調べたところ、警察に技術職の採用



黙々と作業をこなすことが多いですが、和気あいあいと雑談をすることもあります。自分では分からない部分も上司や同僚に気兼ねなく聞くことができるため、疑問点をしっかり解消して仕事に向き合うことができます。

C そうですよ。まさに職人！って感じの方も中にはいらっしゃいますが、質問するととっても丁寧に教えてくださるので助かってます。先輩も普段から気に掛けてくださり、不安を感じることはありません。様々なチャレンジの機会があり、のびのび仕事ができる職場です。

A 働きやすさは僕も感じています！今年の4月に福島県から宮城県に転勤になり、初めての転勤と新しい分野での仕事に不安はありましたが、上司・同僚が温かく迎え入れてくれて日々前向きに仕事を行っています。

最近では、管区内の通信施設課勤務経験が浅い職員を対象とした研修会に参加し、仕事上の悩みや疑問について情報交換をしました。業務上の悩みを相談・共有することで、業務の不安を解消することができました。

職場全体として、若手職員への支援がとても充実していると感じます！

—女性目線で見たい警察庁技術職員の魅力を教えてください。

C 男女問わず活躍の場があることでしょうか。チャンスに臆することなく挑戦することができるので、様々な分野で活躍している先輩職員の姿を見て、自分の目標にしています。

B 警察官並みの体力は必要なく、自分自身の技術力を駆使して、国民の安全・安心を守ることができることです。

我々が扱う通信機器は精密機器のため、重たい通信機器は複数人で協力

して慎重に運びますのでご安心ください！（笑）

—休日はどのように過ごされていますか？

C 友人や家族と旅行やイベントに出かけています！全国津々浦々に同期がいるので、旅行先で同期と遊ぶこともあります。

フレックスタイム制度が整備されているので、仕事がある平日も自分の趣味のために勤務時間をずらして働くことができます。私は、この制度を利用して、バイクの免許を取得しました！今はずっと憧れていたバイクの納車を待っています。

A すごい！私生活がとても充実していますね。僕も休暇の取りやすさは感じています。1年間に20日の年次休暇が付与されますが、今年は100%の取得率を達成しました。来年も20日全日取得を目標にしています。

仕事のオン・オフをはっきりさせることで、仕事のモチベーションもアップしています。

最近では、資格取得を目標に勉強中心の休日を過ごしています。勉強は自宅だけでなく、時には気分転換で図書館やカフェに行くこともあります。

勉強以外にもランニングや野球観戦など、自分の趣味を満喫しています。

B 私は、家でゆっくりすることが多いかな。美術鑑賞が好きで美術館や博物館で企画展があれば巡っていますね。職場の福利厚生制度で割引があるので、映画を見に行く機会も増えました。

—警察庁技術職員を目指す皆さんへメッセージをお願いします。

A 入庁後の研修制度が充実しているので、業務に必要な知識は入庁後でも十分身につけることができます。

ご興味を持った方は業務説明会・職場訪問に来てください。そして、警察庁技術職員について理解を深めてもらえると思います。

B 情報通信技術は日進月歩のため常に学習が必要ですが、仕事をとおして、自分自身の知識や技術を高めることができます。

今持っている知識が活かせるか不安を持つ方もいるかと思いますが、まずはチャレンジしてみようという気持ちを大事にしてください。皆さんと働ける日を楽しみにしています。



private shot



鶴ヶ城の赤べこと！

9:30 始業

朝会で一日のスケジュールを共有し、業務がスタートします。

9:45 無線機点検

管理している無線機に不具合等がないか点検を行います。

**10:00 確認・修理**

システムや情報通信機器に不具合や故障がないか確認します。修理の依頼を受け、ケーブルやアンテナの修理も行います。

**12:00 昼食**

お弁当を作り持参しています。休憩時間終了まで、先輩職員とおしゃべりを楽しんでいます。

13:00 動作試験

修理したケーブル等の試験を行います。実際に現場で使用できるように万全の状態にします。

**14:30 書類整理・電話対応**

今後の維持管理に活用するため、修理内容を記録します。警察官からの無線に関する相談や、問い合わせに電話対応します。

**17:00 翌日の準備**

翌日に出張がある場合、携行品の点検や準備を行い、出張に備えます。

18:15 退庁**プライベート、休日の過ごし方**

海水浴やマリンスポーツや、ドライブをしたりして楽しんでいます。

**警察庁を志望した理由**

無線通信に興味があったので、無線を学べる技術系高等学校に入学。警察庁は第一級陸上無線技術士の資格者を対象とした採用枠があると在学中に知り、資格を活かして社会貢献したいと思い、志望しました。

沖縄県情報通信部
機動通信課
2023年 採用

現在の業務内容

通信機器の設置や、県警察が使用する各種通信機器の準備等を担当しています。災害等の突発事態において迅速的確な対策がとれるように維持管理、訓練しています。

8:30 事務処理

朝礼、メールチェック、業務内容の確認。出張があれば準備をします。

9:00 工事監督

適切に工事が施工されているかを監督します。

**12:00 昼食**

午後の業務に向けて、昼食と休息をとります。

13:00 工事監督

進捗状況の確認を行い、午前中の工事の続きを行います。

**16:00 書類作成**

工事報告書を作成し、まとめます。

**17:15 退庁**

一日の業務を終え、退庁します。

**プライベート、休日の過ごし方**

地元の友達と遊んだり、家族と過ごしています。ドライブに行くことが多いので、ドライブついでに写真を撮影しています。昨年は、同僚とロードバイクでサイクリングに行きました。そのほかにもギターやベース、ピアノなどの楽器や釣りをしてリフレッシュしています。

**警察庁を志望した理由**

工業高校で習得した知識を生かして、国の治安を守る業務に携われることに魅力を感じ志望しました。

現在の業務内容

通信機器や通信施設の整備を行っています。関係機関等と調整を行い、その結果を工事図面や仕様書に反映させ、工事計画を進めています。

秋田県情報通信部
通信施設課
2022年 採用

8:30 事務処理・情報収集

メールの確認と、今日までにあったサイバーセキュリティに関する情報やセキュリティインシデント情報について情報収集を行います。

9:00 不正プログラムの解析

警視庁から依頼を受けた不正プログラムを解析します。



12:00 昼食

今日は、同期と近くの定食屋でランチをしました。たくさん食べて午後からのエネルギーをチャージします。

13:00 会議

業務の進捗や、最新の技術について情報共有を行います。



13:30 電話での打合せ

解析に行き詰まった時は、警察庁や他所属に技術的な助言を受けることもあります。お互い協力できる環境が整っています。



14:00 情報収集

解析手法の高度化を図るため勉強の日々です。今日は、プログラムの構造について情報収集を行いました。



17:15 退庁

プライベート、休日の過ごし方

ラーメンと日本酒が好きなので、休日の昼はラーメン店に出かけ、夜は晩酌で楽しんでいます。冬は休暇を取り、少し遠出してスノーボードをしています。



警察庁を志望した理由

スケールの大きい業務に携わりたいと思っていたため志望しました。また、ドラマのような世間が知らない裏側の事情や公表されていないシークレットなどがあるのではないかといい点も実は興味がありました。

東京都警察情報通信部
情報技術解析課
2020年 採用

現在の業務内容

悪意のあるプログラムを詳細に調査し、その動作や目的、影響を確認しています。詳細を明らかにすることで、効果的な対策を行っています。

8:30 朝会

一日の業務予定を課内で共有します。

8:40 解析相談電話対応

県警察からの解析に関する相談対応をします。解析要請を受ける場合は受付処理を行います。

11:30 証拠品の授受

捜査員が持ち込んだ証拠品を預かります。誤りのないようにしっかりと書類を確認します。



12:00 昼食

庁舎の食堂を利用することが多いです。

13:00 解析業務

先輩からの指導を受けながら進めます。難しい解析は課員みんなで相談しながら進めていきます。



15:30 解析結果報告書の作成

解析した内容を報告書にまとめ、県警察へ報告します。



17:15 退庁

プライベート、休日の過ごし方

友人と食事に行くことが多く、先日は奮発して豪華なアフタヌーンティーに行きました。休日は心身ともにゆっくりと過ごすことで、リフレッシュができ翌週の仕事も頑張ろうと思えます。



警察庁を志望した理由

以前は、民間企業で勤務していましたが、公共のために働きたいと思い公務員を目指しました。その中でも警察庁技術職員は、国民の安全・安心を技術面で担う仕事であり、治安維持に貢献できることに魅力を感じ、志望しました。

埼玉県情報通信部
情報技術解析課
2023年 採用

現在の業務内容

県警察からの依頼を受けて、被疑者が使用した電子機器を解析しています。解析する対象により解析手法が異なるため、覚えることが多く大変なこともありますが、日々奮闘しています。

総合的に発展進化していく
警察情報通信と共に

38年目



関東管区警察局 神奈川県情報通信部長

山本 紀幸 国家公務員Ⅲ種試験
(電気)

私が所属している神奈川県情報通信部は、神奈川県警察の活動を技術面から支えている国の組織です。

警察は業務の特殊性から、110番受理システム、警察無線システム等、国が全国統一した独自システムを多く整備しており、そのシステムが正常に動作していないと、警察活動に支障をきたすと言っても過言ではありません。そのため我々は、システムの整備と維持管理を行い、また、県警と連携して、犯罪の取締りのための情報技術の解析も行っています。

これらの重要な業務を行うため、情報通信部の責任者としては、今まで培った技術や過去の勤務経験、人脈等を生かし、県警を支援できる体制を確立することが求められます。また、一番大切な情報通信部の職員が、生き生きと働くことのできる職場づくりも心掛けています。

さらに、県警との連携も大切なため、公安委員会の先生方、警察本部長、各部長等とのコミュニケーションも大切にしています。

学生の皆様へのメッセージ

情報通信部の業務は、多種多様ではありますが、研修体系がしっかりしていること、得意分野や個人個人の能力を生かせる人事配置に配慮している等、心配しないで業務を行うことができると思います。

また、この組織の仲間達は、仕事のことは勿論ですが、プライベートのことで、本人、家族のお祝い事、不幸があった場合には、一緒に苦楽を共にしてくれました。私もそんな仲間にも助けられて、今のポジションに就けたと思います。

こんな組織の仲間に入りませんか？お待ちしております。



1987～1991年

■新潟県通信部無線通信課 保全係員

県警察の現場活動を支える通信部業務を実感

初任地は新潟県でした。3名の新卒者が配置になり、右も左も分からない我々に対し、先輩方は親切丁寧に業務を教えてくださいました。

私は、警察無線の維持管理を主に担当し、警察署や交番等に行き、また、警備等の部隊活動にも参加し、現場警察官と常に連携して業務を進めました。

警察官が通信機器を使用して業務を行っている姿を目の前で見て、この業務が警察活動を支えていることを実感しました。

このときの経験は、今の私の自信につながっています。



1991～1993年

■関東管区警察局通信部無線通信課 保全係員 施設主任

東京サミットまでにWIDE通信システムを整備せよ

関東管区へ異動になり、初めての業務は、ICPO で使用する短波無線局（今は廃局しています。）の維持管理を行う保全係でした。

その後、1993年にサミットが東京で開催されることになり、WIDE通信システム（警察版のデジタル携帯電話）をサミット警備に間に合うよう首都圏に整備をするため、整備担当の施設係に異動となりました。

関東管区内では、初めての整備のため、整備先進県である近畿管区に行き、ノウハウを伝授してもらいました。

完成後、部隊がサミット警備で WIDE 通信システムを使用しているのを見た時の達成感は非常に大きく、今も忘れられません。



1997～2000年

■警察庁情報通信局通信施設課 施設主任

県通信部・管区通信部等の経験で予算要求

警察庁では通信施設課に勤務し、各種システムを導入するための予算要求業務を行っていました。

情報通信システムは警察活動に欠かせないため、刑事局、交通局等、様々な部署と連携し、予算要求に必要な書類を作成し、予算主管部署へ提出しました。

何を行うにしろ、予算が無ければ話になりません。

全国の警察活動につながっているため、非常に責任のある業務でした。

2001～2002年

■神奈川県情報通信部 機動通信課 係長 通信施設課 係長

現場からの情報は映像が主流に

神奈川県では、2002サッカーワールドカップの通信対策の業務を行っていました。

フーリガン対策との名目で、競技会場、駅からの道路等にカメラを設置し、警察本部、そして警察庁に映像を配信しました。

当時の映像信号は、今のデジタルとは違い、アナログ信号であったため、画質補正、ノイズ対策等に悩まされました。

その後、「百聞は一見にしかず」ではありませんが、現場警察活動の情報共有には、映像が必要不可欠な時代となってきていました。

2017～2021年

■東京都警察情報通信部 機動通信第一課、第二課 調査官、課長

東京2020オリンピック・パラリンピック 通信対策の完遂をめざし

東京オリンピックの開催が決定し、通信対策の検討を進めることになりました。まさか、自分が担当するとは思っていませんでしたが、昭和39年東京オリンピック年の生まれなので、何かの御縁と思い挑戦しました。

オリンピック会場の建設計画と一緒に、警察も対策を行う必要があるため、組織委員会、JSC（日本スポーツ振興センター）と連携し進めました。

開催間近にならないと決まらないことばかりで、検討を進めるに当たり非常に苦勞をしました。

その後、コロナ禍となり、どうなるか分からなくなりましたが、全国の警察職員が応援にきてくれて、無事に完遂できました。



キャリアパス

私の歩んできた道、
そして現在中国四国管区警察局 四国警察支局
高知県情報通信部 通信施設課長

石田 ゆかり 無線従事者資格

2024年3月から出身地である高知で通信施設課長として勤務しています。

通信施設課の業務としては、第一線の警察官が警察活動を行うために最も重要となる通信を確保するため、警察無線・警察電話・通信指令システム等の警察通信施設を整備し、維持管理を適切に行い県民の安全・安心に繋げることです。常に高知のために何ができるかを考え、それを形として残せる仕事ができたらと思っています。

仕事は一人ではできません。課員一人一人の特性に応じたチームワークを大切に、互いに協力し合いながら業務を進めています。部下職員が、毎日仕事を楽しくできる環境を維持することが、今の私の大切な仕事であると思っています。

1993～1998年

■愛知県通信部無線通信課保全係員

初めての現場活動

採用され丁度1年が過ぎたとき大規模な航空機墜落事故が発生し、その現場に出動した経験があります。当時、県警が保有していたテレビ中継車で、初めて緊急走行で出動し、現地で映像伝送するカメラマンとして大規模な事故現場で活動しました。出動する際には、とても緊張していましたが、現場に到着した際には落ち着いて、警察本部や警察庁に映像伝送することができ役目を果たすことができましたと思っています。この現場活動は、紛れもなく使命感があったと感じています。この経験は、私にとって生涯忘れることのできないものとなっています。

2014～2016年

■警察庁情報通信局通信施設課電波技術係長

警察庁での勤務

警察庁の電波技術係長として勤務した際には、パトカー等で使用する車載通信系の周波数や大規模なイベント（ラグビーワールドカップ・即位の礼・オリパラ）等で警備活動で必要になる警察無線の臨時周波数を確保するため、電波の主務官庁である総務省と折衝するなど、非常にやりがいのある業務を経験できたことは、自身の成長に繋がったと感じています。

32年目



2021～2022年

■中部管区警察局情報通信部通信施設課課長補佐（計画）

仕事をする上で心掛けたこと

業務を行うためには、情報収集と関係各所属等との相互の連携が大切です。常にアンテナを高くして、警察庁や他の管区警察局及び各県情報通信部の情報を素早くキャッチできるよう各担当者や部下職員とコミュニケーションを図るよう心掛けました。また、知り得た情報は、関係各所属等と情報共有し、連携を図ることが大切であると感じています。



警察の内外で サイバーセキュリティ分野のキャリアを積む

23年目

警察庁サイバー警察局 情報技術解析課
サイバーテロ対策技術室 専門官

萬谷 暢崇 国家公務員Ⅱ種試験
(電気・電子・情報)

電気、ガス、水道等の国民生活に重要なサービスを提供している重要インフラ事業者等のサイバー攻撃被害を防止するため、私の係では新しいサイバー攻撃手法や重要インフラ事業者等で機械の制御に使われている制御システムのセキュリティ対策等について情報収集、分析して、サイバー攻撃の被害を防止する対策や被害を受けたシステムを解析する際に見るべきポイント等をまとめた技術資料を作成しています。

業務の責任者の立場になり、何をどう分析するかという方針を立てて部下に指示して業務を進めるため、自分で物事を決められる範囲がかなり大きくなりました。系の皆が生き生きと仕事をして、私一人では出せない大きな成果を出してくれるのはとても嬉しいものです。

2009～2010年

■警察庁情報通信局情報技術解析課 主任

デジタル・フォレンジックに関する 国際連携を推進する

国際担当として、他国の法執行機関等を訪問して最新のデジタル・フォレンジックの解析手法に関する情報交換をしたり、アジア大洋州地域の法執行機関のデジタル・フォレンジック担当者が日本に集まって情報交換をする情報技術解析課主催の国際会議の運営をしていました。当時日本で被害が多く発生していたマルウェアについてフランスで開催されたサイバーセキュリティに関する国際会議で講演したこともありました。

2011～2013年

■内閣官房情報セキュリティセンター (NISC) 主査
政府機関から情報を盗む攻撃に対処する

当時は政府機関や企業に関係者を装ってマルウェア付きのメールを送信してコンピュータをマルウェアに感染させ、コンピュータ内の情報を盗むサイバー攻撃の手口である標的型メール攻撃の被害が大きな問題となっていました。私は NISC に出向して、政府機関情報セキュリティ横断監視・即応調整チーム (GSOC) の一員として政府機関を狙った標的型メール攻撃に使われたマルウェアを解析する業務を担当しました。その後 2015 年から 2016 年にも出向して 2 回勤務しました。



2014年

■警察大学校サイバーセキュリティ研究・
研修センター捜査研修室 助教授

サイバー犯罪捜査の研修を担当する 新たな部署を立ち上げる

サイバー犯罪捜査、サイバー攻撃対策を担当する都道府県警察の警察官を対象とする専門教育のため 2014 年に新たに設置されたばかりの捜査研修室に着任して、何も無いところからテキストの作成、捜査実習の事件シナリオの作成、実習環境のシステム構築等を行って捜査研修室の立ち上げに取り組みました。当時は必要な作業が多くとても苦労しましたが、周りの人達の協力を得ながらどうにか乗り切ることができました。



ワークライフバランス



警察庁職員が利用できる主な仕事と育児の両立支援制度

育児休業

3歳未満の子を養育する場合、配偶者の就業の有無にかかわらず、3歳の誕生日の前日まで休業できます。

職務専念義務免除

妊産婦が健康診査や保健指導を受診する、通勤時の混雑が妊娠中の負担になる場合、勤務しないことが認められます。



産前・産後休暇

産前6週間、産後8週間の休暇を取ることができます。

配偶者出産休暇

配偶者の出産に伴う入退院時・出産時の付添などを行うために休暇を取ることができます。

男性職員の 育児参加のための休暇

配偶者が出産する場合、その出産にかかる子または小学校就学に達するまでの子を養育する男性職員が休暇を取ることができます。



子の看護休暇

小学校就学前の子を養育する職員が子の看護をする必要がある場合、子供1人につき、年5日の休暇を取ることができます。(10日が上限)



早出遅出勤務

1日の勤務時間を保ったまま、早出や遅出することができます。

育児時間

小学校就学前の子を養育する場合、1日の勤務時間のうち最大2時間まで勤務時間を短縮できます。

育児短時間勤務制度

小学校就学前の子を養育する場合、該当する勤務形態により勤務時間を短縮することができます。

休憩時間の短縮

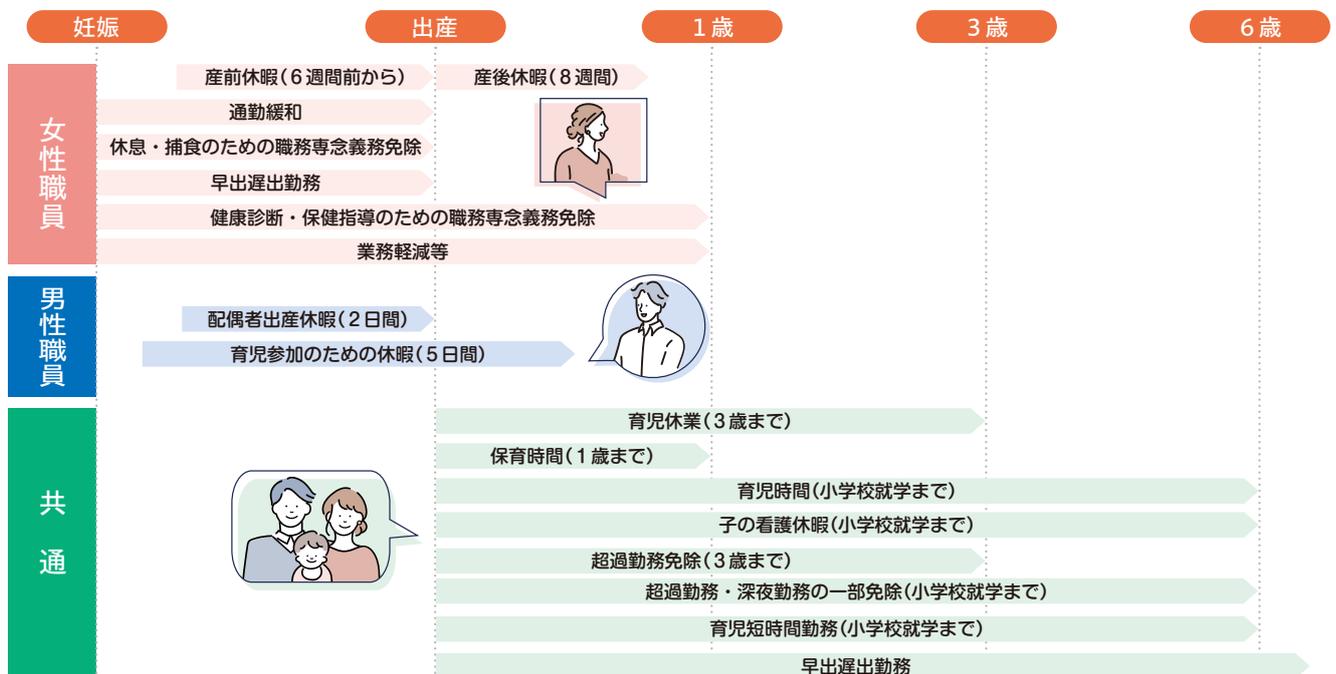
育児や家族の介護のため、休憩時間を短縮することができます。

テレワーク勤務

1日の勤務時間全体または一部を自宅で勤務することができます。



育児に関する両立支援制度のほか、介護に関する休暇やフレックスタイム制、ワークライフバランスを支援する制度が多数あります。



制度利用者の声・ある1日のスケジュール



東京都警察情報通信部

機動通信第二課 係長

2013年採用 一般職試験（大卒程度）
電気・電子・情報

小学生の子供がいます。小学校にあがり、学校活動への参加や夏休み等の長期休業など、子供の成長に伴って制約される時間が乳幼児期と比べ大きく変わりましたが、理解のある上司や同僚の協力により、その時々で適切な制度を利用しています。

柔軟な働き方ができる恵まれた職場環境で業務に集中することができるため、仕事と育児が両立できていると実感しています。

利用した制度

通勤緩和、育児休業、育児短時間勤務、子の看護休暇、早出遅出勤務、休憩時間の短縮、テレワーク勤務

Schedule ある1日のスケジュール

- 6:00 **起床・朝の準備・夕食作り**
子供が起きる前に家事を終わらせ、子供を起こして一緒に朝食を食べます。
- 8:00 **出勤**
子供と一緒に自宅を出発。
- 9:00 **登庁**
担当システムの点検を行います。
- 12:00 **お昼休み**
休憩時間を30分にしています。
- 12:30 **午後の勤務開始**
警視庁からの問合せに対応。
- 17:15 **退庁**
子供のお迎えのため、毎日、定時退庁しています。
- 18:00 **学童へお迎え**
- 18:15 **帰宅**
急いで夕飯の準備!
- 18:30 **夕飯**
- 19:00 **子供と過ごす時間・お風呂**
子供と一緒に遊びつつ、一人で集中し始めるタイミングがあれば家事をします。
- 20:30 **宿題の付き添い**
学校の宿題の丸付けをしたり、翌日の準備を見守ります。
- 21:15 **子供の就寝に付き添い**
子供と一緒に寝てしまい、気づいたら朝になっていることも…。
- 21:30 **家事**
夕食後に終わらなかった家事を片付けます。
- 22:30 **就寝**
睡眠時間はきちんと確保したいので、22時30分までには寝るようにしています。



中国四国管区警察局 情報通信部

通信施設課 係長

2012年採用 国家公務員II種試験
(機械)

第2子誕生時に育児休業を取得しました。

上司や同僚に業務計画や休業計画をしっかりと共有することで、スムーズに業務の引継や休業・復職ができました。

復職後も子供の予防接種や通院、幼稚園の送迎などを行って、子供との貴重な時間を過ごしています。

育児参加は業務への活力であり、充実した毎日を送っています。

利用した制度

育児休業、配偶者出産休暇、男性職員の育児参加のための休暇、子の看護休暇、早出遅出勤務、テレワーク勤務

Schedule ある1日のスケジュール

- 7:00 **起床、朝食**
- 7:40 **出勤**
子供たちを起床させて「おはよう、いってきます。」の後に出勤します。
- 8:30 **登庁**
午前中は各県からの問い合わせに対応しました。
- 12:00 **昼休憩**
妻と定期的に連絡を取り合います。子供や妻の体調不良等があれば、時間休暇を取得する事もあります。
- 13:00 **午後の勤務開始**
管内の整備計画の進捗状況について打合せを行いました。
- 17:15 **退庁**
- 18:15 **帰宅、夕食**
家族そろって食事をします。
- 19:00 **子供と一緒に遊ぶ**
最近はお絵かきや工作がブームです。
- 20:00 **子供とお風呂**
子供2人の入浴は僕の仕事です!
- 21:00 **子供の寝かしつけ**
そのまま一緒に寝ることもあります。
- 22:00 **就寝**
妻と晩酌した後、就寝します。

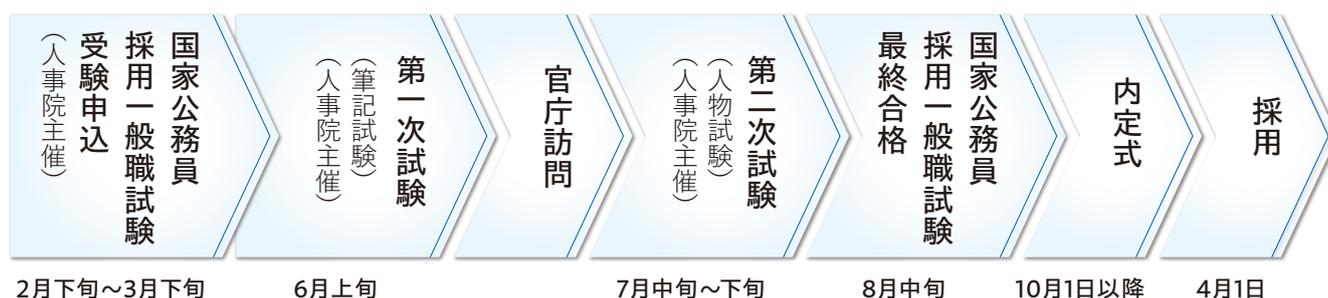
募集要項

警察庁技術職員への道のり

警察庁技術職員（国家公務員）になるためには、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験の最終合格及び警察庁の各地方機関が実施する官庁訪問（採用面接）の両方に合格する必要があります。

また、資格保有者を対象とした選考試験（無線従事者採用）も実施しております。

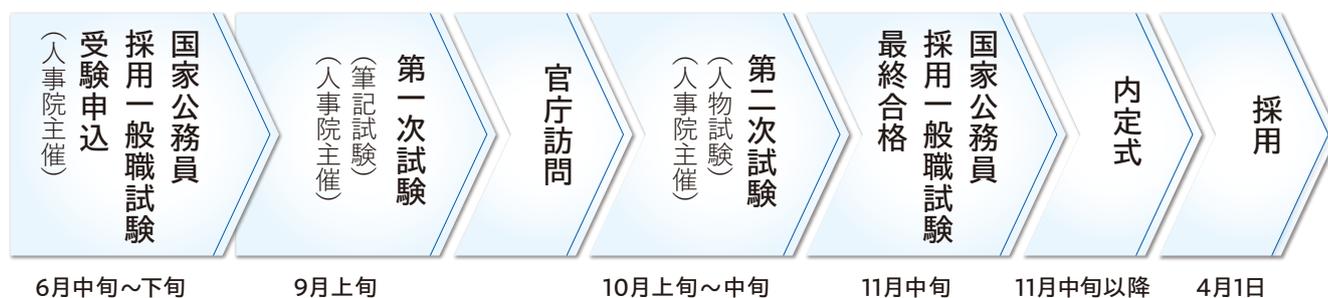
国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）



● 上記は令和6年度の例です。

実施年度により、スケジュールが異なる可能性がありますので、実施詳細については、人事院のホームページをご覧ください。

国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）



● 上記は令和6年度の例です。

実施年度により、スケジュールが異なる可能性がありますので、実施詳細については、人事院のホームページをご覧ください。

● 官庁訪問（採用面接）時期は、各地方機関のホームページをご覧ください。

官庁訪問（採用面接）とは？

受験者が志望官庁を訪問し、業務説明や面接を受けるもので、志望府省庁に採用されるための重要なステップです。官庁訪問（採用面接）の前に、業務説明会や職員訪問を通じ、府省庁の業務内容をしっかりと理解しておくことをおすすめします。

選考試験（無線従事者採用）

- 第一級陸上無線技術士の資格保有者を対象とした選考試験も実施しております。
- 日程等の実施詳細は、各地方機関のホームページをご覧ください。

求める人物像



機械・パソコンが好きな人



常に向上心を持った人



柔軟な発想力を持つ人



チームワークを大切にする人

給与・勤務時間など

初任給 ^{※1}	<大卒程度試験採用> 約220,000円 <高卒者試験採用> 約188,000円 <選考採用(第一級陸上無線技術士)> 約220,000円
諸手当	扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当など
昇給	原則年1回
賞与(ボーナス)	期末手当、勤勉手当として、1年間に俸給の月額等の約4.6カ月分(6月、12月に支給)
勤務時間	1日7時間45分
休暇等	年次休暇20日 ^{※2} 20日まで翌年に繰越し可能(最大40日まで) その他、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等)、介護休暇等
休日	土・日、祝日等、年末年始(12月29日～1月3日)

※1 大卒後又は高卒後に職務経歴なしで採用された場合の目安であり、院卒者や職務経験者の場合は、その経歴を踏まえた給与が設定されます。

※2 初年度は15日

近年の採用実績

採用年度	国家公務員採用一般職試験										選考試験		計	
	大卒程度										高卒者	無線資格 (一陸技)		経験者 採用 (係長級)
	デジタル・電気・電子 ^(※)	機械	土木	建築	物理	化学	農学	農業農村工学	林学					
2020年度	28	2	8	2	3	11	3	0	0	16	33	0	106	
2021年度	11	5	2	0	4	16	11	2	0	18	34	2	105	
2022年度	21	1	2	1	4	15	14	0	1	7	37	0	103	
2023年度	11	5	4	0	4	8	9	0	0	7	37	0	85	
2024年度	13	4	2	0	6	10	9	0	2	17	32	0	95	

※「デジタル・電気・電子」区分は、2022年度試験以前は「電気・電子・情報」区分です。

なお、管区警察局別の採用状況は、各管区警察局のホームページ等をご覧ください。

理系としての素養をお持ちの方でしたら、学生時代の専攻にとらわれず人物重視での採用を行っております。
採用区分が配属先や将来的なキャリアパスに影響を与えることはありません。

採用広報動画

警察庁技術職員(一般職)の業務内容や研修制度等の魅力を一つの動画にまとめました。



13分22秒

警察庁技術職員(総合職・一般職)の日々の業務・組織での役割について若手職員の声をまとめました。



3分3秒

採用 Q & A

Q1 採用は管区警察局のみで行われるのですか？

A 各管区警察局、北海道警察情報通信部、東京都警察情報通信部及び四国警察支局において採用しています。

なお、関東管区警察局と東京都警察情報通信部は、いずれも首都圏において警察の情報通信部門として活動するという点で親和性があることから、合同で職員の採用を行っており、経験の幅を広げキャリアアップを図るため、人事交流も行っています。

Q2 担当する業務は、情報通信部門のみですか？

A 情報通信等の技術を軸とする業務を担当します。また、本人の適性や希望に応じて都道府県警察や警察庁に出向し、生活安全、刑事、交通、警備といった他部門で勤務する機会や、他省庁で勤務する機会もあり、様々なフィールドで活躍するチャンスがあります。

Q3 総合職と一般職の業務の違いは何ですか？

A 総合職は技術的な知見を活かしつつ、主に政策の企画・立案に携わります。一方、一般職は第一線警察活動における情報通信システムの整備・運用、サイバー事案捜査の技術支援等、専門的な知識や技能を実際に活用する業務に従事することになります。

Q4 大卒・高卒で業務内容に違いはありますか？

A 学歴等による業務内容の違いはありません。入庁後は採用区分や試験区分に関わらず、同一の新任研修や配属先での実務研修を経た上で、本人の適性等に応じたキャリアを積むことになります。

Q5 採用までに取得しなければならない資格はありますか？

A 採用までに取得必須の資格はありません。

Q6 異動について個人の希望は反映されますか？ また、異動の周期はどれくらいですか？

A 異動に関する希望調査を毎年実施しています。配置先は適性や能力、家庭状況等を総合的に踏まえた上で決定されます。

また、異動の周期は概ね3～5年周期となります。

Q7 警察庁本庁で勤務することはできますか？

A 本人の希望や適性によって、警察庁本庁や警察情報通信研究センター、サイバーセキュリティ対策研究・研修センターで勤務する機会もあります。

採用窓口



北海道警察情報通信部 通信庶務課

〒060-8520
北海道札幌市中央区北2条西7丁目
TEL：011-251-0110（内線6032）



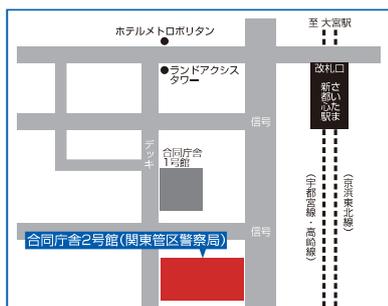
東北管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒980-8408
宮城県仙台市青葉区本町三丁目3番1号
TEL：022-221-7181（内線6032）



東京都警察情報通信部 通信庶務課

〒100-8929
東京都千代田区霞が関二丁目1番1号
TEL：03-3581-4321（内線60311）



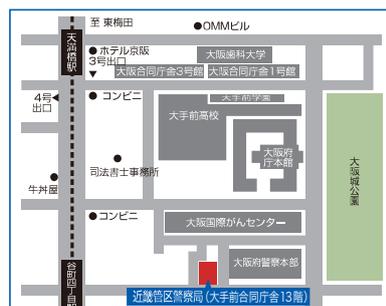
関東管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒330-9726
埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
TEL：048-600-6000（内線6032）



中部管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒460-0001
愛知県名古屋市中区三の丸二丁目1番1号
TEL：052-951-6000（内線6032）



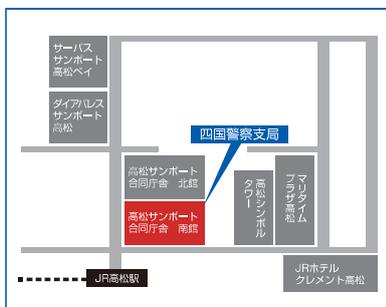
近畿管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒540-0008
大阪府大阪市中央区大手前三丁目1番41号
TEL：06-6944-1234（内線6032）



中国四国管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒730-0012
広島県広島市中区上八丁堀6番30号
TEL：082-228-6411（内線6032）



四国警察支局 情報通信部 通信庶務・施設課

〒760-0019
香川県高松市サンポート3番33号
TEL：087-821-3111（内線6032）



九州管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒812-8573
福岡県福岡市博多区東公園7番7号
TEL：092-622-5000（内線6032）





警察庁

National Police Agency

業務説明会・職員訪問のご案内

警察庁及び各地方機関において、業務説明会・職員訪問を随時実施しています。

職場の雰囲気や実際に勤務する職員からの生の声を聞くこともできますのでぜひ、お気軽にご参加ください。

採用イベントは警察庁ホームページや各地方機関のホームページをご確認ください。

不明点等がございましたら、警察庁技術職員採用メールアドレス (ippansyoku-saiyo@npa.go.jp) までご連絡をお願いします。

説明会エントリーはこちらから!!

マイページ登録

※新規登録は下記 URL・右記 QR から



新規登録用 URL : <https://mypage.3010.i-webs.jp/npa/applicant/login/baitai-entry/entrycd/ippantech>
マイページにご登録いただくと、予約がワンクリックで完了します。

採用に関するお問い合わせ

警察庁長官官房人事課 採用担当 〒100-8974 東京都千代田区霞が関二丁目1番2号
TEL : 03-3581-0141(代表) / 内線 2698
E-mail : ippansyoku-saiyo@npa.go.jp

警察庁採用情報サイト

<https://www.npa.go.jp/about/recruitment/index.html>



警察庁 HP



X@NPA_infocom



警察庁技術職員採用広報動画
(警察庁公式 YouTube チャンネル)